



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」

～ 知の会い・学びの会い・共に育つ ～

<目指す児童像>

豊かなコミュニケーションの下で、

かしこい子(知) 明るい子(徳) たしきい子(体)

TEL 663-7005

FAX 663-9886

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-esaitama-city.ed.jp/>

Eメールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

令和7年5月30日 第3号

自ら学び、考えて行動する児童の育成

校長 新堀 栄

来週から6月に入り、1学期も残り半分となりました。先週、地方気象台から「沖縄が梅雨入りしたと見られる」との発表がありました。関東地方もぐずついた天候が続いていますので、梅雨入りも間近でしょうか。6月は別名「水無月/みなづき」と言われ、雨がたくさん降る時季ですが、「水の無い月」というのはおかしいのでは…と前から思っていました。『諸説』ありますが、私が納得した説は、田んぼに水を張る月という意味の「水の月」という説です。「水な月」の“な”は“の”という意味の古語で、“無”は当て字という理由です。実は、「無い」ことを意味していたのではなく、田に水が必要だという意味の呼び名だったのでした。また、6月は「いじめ撲滅月間」です。昨年度の本校におけるいじめの認知件数は11件。本校では、いじめを見逃さず、どの案件もカウントしています。また、いじめを認知することがゴールではなく、その後児童への丁寧な声掛けや周囲への指導、見守りを行っています。今後とも、いじめはどのクラスでも起こり得ることを肝に銘じ、予防措置、早期発見、解決に努めてまいります。来週の校長講話では関連した話をします。児童会でも主体的な取組を行います。お気付きの点がありましたら、学校にお伝えください。

さて、本校の学校教育目標は「自ら学び、考えて行動する児童の育成」です。改めて、これからの世界を生きる子ども達には、自分の幸せな人生と豊かな社会を創造するために、自ら学びを更新し、自分の頭で考え、主体性を持って行動できる力、つまり、「エージェンシー」が必要不可欠と考えます。

先日、本棚を整理していると、7年前に刊行後、累計発行部数が220万部を突破する大ヒットになった「漫画 君たちはどう生きるか」を見つけ、久しぶりに読んでみました。物語の主題は、やはり「自分で考え、自分でどのように行動するかを決定する力」を身に付けていく物語です。概要をお話しますと、主人公のコペル君は日々、いろいろなことに気が付き、また正義感に燃えて、生き生きと生活していました。コペル君は、友達に危機が及んだ時には絶対に逃げずに戦うと宣言し、仲間と約束します。しかし、仲間を裏切ってしまうのです。コペル君は友達が上級生にひどい目に遭っている時、知らんぷりをしています。コペル君は自分のしたことをひどく後悔し、打ちひしがれます。そして、お母さんが持ってきてくれたおじさんのノートには「僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている。だから誤りを犯すこともある。しかし、だからこそ、誤りから立ち直ることができるのだ。」と書いてあるのでした。原作は、1930年代に、若い読者へ向けて書かれた本ですが、幅広い年代の読者を獲得し続けながら今日まで読み継がれています。本書は漫画ではありませんが、コペル君とおじさんのやり取りは、文章で綴られています。高学年でしたら、読破できるのではないかと考えます。この夏におすすめの一冊です。